



目舞で50周年祝う

記念誌で活動や足跡紹介 駒井町会が50周年

設立50年を迎えた駒井町会(櫻井信吾会長、1,355世帯)が5月15日(日)に狛江第六小学校で記念式典を催した。

式典には町会の役員に加え平林浩一副市長など約150人が参加。同町会の前会長で創立50周年実行委員長の佐藤英一さんが、設立当初に田畑や梨畑が広がっていた光景や昭和49年の多摩川水害で小・中学校に避難したことなどを紹介しながら、「駒井町会は市内の町会では加入率が最も高く、一時は約85%が加入していた。最近の高齢化の進行などで66%になったが、会員数の減少に歯止めをかけ、顔の見える助け合いの関係を築いていきたい」と挨拶した。また、平林副市長が「駒井町会は長い間、地域活動の活性化に取り組

み、早くから避難所運営協議会を設立するなど安心・安全を守る活動を行っており感謝しています」などと松原俊雄市長の挨拶を代読した。続いて日本民謡新舞踊 美重駒会の会員が日本民謡や民謡などを披露して式典に華を添えた。

また、町会では50周年の記念誌を作成した。

記念誌はA4判24ページで、町会活動を紹介した写真や年表、都などから受けた感謝状・賞状、町内を写した昭和50年と現在の航空写真、50年前を振り返った住民の思い出、駒井町の好きなところを書いたボードを持った住民のスナップ集、町内の名所を紹介したおさんぽマップ、行政の変遷などが掲載されている。

町会活動を紹介した写真ページでは、町会の活動資金を作るために行った資源の集団回収、日枝神社の祭、スポレク大会、多摩川一斉清掃などが40枚余りの写真で



記念誌

紹介されている。

記念誌は1,600部印刷し会員に配布するほか、南部地域センターで閲覧できる。

身近に多くの危険物 5日から危険物安全週間

5日(日)～11日(土)は「危険物安全週間」。

車の燃料となるガソリンや軽油をはじめ新型コロナウイルスの感染拡大防止のため使う機会が増えた消毒用アルコール、バーベキューで使う着火剤、DIYに欠かせない接着剤や油性ペンキなど、私たちの身の回りには多くの危険物がある。これらの製品は便利な反面、取扱方法を誤ると大変危険なものになる。狛江消防署では、危険物安全週間に機会に、身近な危険物を再認識し、危険物による事故の防止を呼びかけている。

沖縄復帰50周年記念し 映画上映やお笑いライブ

沖縄復帰50年キタコマ映画祭(喜多見と狛江の小さな映画祭+α実行委員会主催)が15日(日)～19日(木)に催される。

平成25年から喜多見と狛江の小さな映画祭+αを開催してきたが、コロナ禍で中断していた。市内には沖縄県の学生寮「南灯寮」があり、沖縄の日本復帰50周年を機に沖縄への関心を高めてもらいたいと、沖縄をテーマにした映画を上映するほか、18日(土)午後7時から中央公民館で沖縄出身のお笑い芸人「しゃもじ」と「三日月マンハッタン」のライブがある。

映画の上映会場は中央公民館、M.A.P.(岩戸北4-10-7)で、作品は「ナビの恋」「ひまわり 沖縄は忘れないあの日の空を」ほか5作品の予定。入場料は映画1,200円(前売り1,000円)、お笑いライブ1,800円(前売り1,500円)。

問い合わせは☎3489-2246同実行委員会 宇夫方さん。



今月のこまえくぼ

休館日=7日(日)、14日(日)、21日(日)、25日(土)(午後1時～、狛江市長選挙のため)、26日(日)(狛江市長選挙のため)、28日(日)

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業
■第1回こまえくぼ1234フェスティバル

18日(土)午前10時～午後4時(物産展は売り切れ次第終了)。
①魅力たっぷり物産展(駐輪場)=愛知県西尾市(一色産うなぎ)、茨城県境町(旬の野菜)、石川酒造株式会社(地酒)
②CSR(社会貢献事業所)による



今の子どもより、自分の子ども時代のほうが「外遊び」を多くしていたと約9割の人が感じているそうです。子どもが外で遊び、近所のおじいちゃん、おばあちゃんが見守る。そんな光景も見かけることが少なくなったようです。

前原公園では夕方になると男の子も女の子もブーメランを飛ばして遊ぶ姿を見ることが出来ます。

うまく投げればクルクルと回って手元に戻ってくるブーメランですが、最初からうまく飛ばず子もいれば、力任せに投げずぐに落ちて悔しがる子もいます。

子どもたちに囲まれ、自作のブーメランで投げ方を教えているのは香取忠治さん(84)です。

狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-0003狛江市和泉本町1-2-34 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M info@vc.komae.org 開館時間10:00～17:00 休館日=火曜日、祝日、年末年始

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

出店(駐輪場)=COUP DE C OEUR(サンドイッチ専門店)、アクアクララメトロポリタン(ボトルド・ウォーターの販売)

③市民活動支援センター登録団体によるイベント(フリースペース)=参加団体=オカリナひまわり、コンティゴあなたといっしょ、バルーンアートふくと、こまえほんの会、おはなしこまえ、りぷりんと・狛江かわせみ、野崎淳之介さん(コマラジパーソナリティ)の作品展

フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

■おりがみサロン

1日(日)午後1時～3時。折り紙でボランティア活動、交流

■切手カフェ

10日(日)・17日(日)午後1時～3時。古切手の整理。古切手の収益をボランティア事業に使用

ボランティア募集

■デジタルボランティア イベント等で参加者のパソコンやタブレットなどの利用をサポート

■こまえくぼ広報紙配達ボランティア 毎月初めから10日頃までの間(1月は20日～月末)に、「広報誌こまえくぼ1234」を配達(配達先は問い合わせ)

施設利用時のお願い

こまえくぼ1234は感染対策を行って開館しています。感染状況によっては、機能や設備利用の一部を制限する場合がありますので、ホームページや窓口等で確認してください。

超軽量ブーメランで遊ぶ会●香取忠治さん

ブーメランは風を読んで飛ばせ



香取さん

狩りで使われていた木製ブーメランを見たのをきっかけに、子どもにも作れて安全に遊べるブーメラン(紙製の3枚羽)作りに12年前から取り組んでいます。つばさの厚みや角度を変えて何度も試作を繰り返して、出来上がったブーメランは大人

気になりました。「ブーメランは風を読んで飛ばすと良い」と

子どもたちに教えている香取さんは「高学年の子どもが小さな子どもに安全な投げ方を教えるなど、社会性を身につける場になっていることが、ブーメラン作りを教えた良かったこと。なぜブーメランは飛ぶのかと、子どもたちに探究心が芽生え、思い通りに飛ばすことができなくても、『自作のブーメラン』で遊ぶ子どもが増えるとうれしいですね」と話していました。

活動場所は前原公園やプレイパーク、地域センターなど市内全域。野川地域センターなどで作り方の指導をしています。

問い合わせは超軽量ブーメランで遊ぶ会☎3480-7246香取(取材記事:こまえくぼ広報部会 高橋)

ホームページはこちら→



水彩画、装飾品、素描など個展開催

スポーツ

狛江駅北口にある泉の森会館で今月、狛江市民らによる水彩画、装飾、素描の3つの個展が催される。

須貝寿英水彩画個展(1日(日)～6日(土)午前10時～午後5時)はハイキングや山登りが趣味の須貝さんが約10年の間に出かけた各地の山などのほか、自宅近くの多摩川や五本松、西河原公園の桜などを描いた作品。中学生時代に美術部に所属した須貝さんは40数年経た定年後、自然の美しさを表現したいと再び創作を始めた。市内で初の個展には6号16点、2号20点を展示する。

古今東西装飾楽展(14日(日)～19日(土)午前11時～午後6時(最終日は午後4時まで))は小室博子さんが長期間にわたって集めたヴィンテージ素材を使って創作アクセサリーや小物にリメイクした作品。

田中栄作素描展(21日(日)～26日(土)午前10時～午後5時(初日は午前11時から))は武蔵野美術大学名誉教授で彫刻家の田中栄作さんが、メソポタミア美術・エーゲ海美術などをテーマにした素描画約40点。

問い合わせはいずれも☎5497-5444泉の森会館。



須貝さん